

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者	連絡先	2272
部 名	総務部	課 名	職員厚生課	課長名	八木優子
事務事業名	被服貸与事業				
予算上の事務事業名	職員貸与被服購入事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標	#N/A				
政策名	#N/A				
基本施策名	#N/A				事業開始年度
施策名	#N/A				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市職員被服貸与規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市職員被服貸与規則改正		平成15年度に被服検討委員会で事務服貸与の休止が決定し(H16~H18)今年度中に再度被服検討委員会を設け休止の評価、検証を行い19年度以降の事務服の貸与を決定する。		
計画年次	16	年度～	18	年度	
4 事業形態の区分	内部管理 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
職員から申請があったものに対し申請が適正であるか審査した後、被服の貸与を行っている。また、適切な被服を貸与することで、安全性と作業効率の向上を図り事故や災害の無い職場環境を実現することを目的としている。			職員定数条例に定める職員(消防職員、環境整備員、保育士、学校作業員等を除く)		
(3) 平成17年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
総事業費 10,052千円					
棄損亡失届及び特別貸与申請書の受領後、内容を審査し貸与を決定している。					
貸与数					
・作業服 944着 ・安全靴等 366足 ・ヘルメット 117個 ・保健師等専門職種 49着 ・その他(調理服等) 332着 ・部長級防災服等 20着					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内の主な市町村は、作業服については貸与をしているが、事務服については貸与をしていない。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	2,506	11,514	10,052	14,999	15,000
一般財源	2,506	11,514	10,052	14,999	15,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	492	495	480	480	480
事業コスト合計	2,998	12,009	10,532	15,479	15,480
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	被服貸与事業			対象名称と単位	貸与数(着)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,998	12,009	10,532	15,479	15,480
対象数	496	2,189	1,896	2,500	2,500
単位あたり経費(円)	6,044	5,486	5,555	6,192	6,192
前年度比		0.91	1.01	1.11	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	貸与数	指標式と指標の説明		貸与数/貸与申請数*100	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	貸与数	指標式と指標の説明		貸与数/貸与申請数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		安全性と作業効率を図るため貸与を行うとともに貸与品目の見直しを行い管理を徹底させる。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 在庫管理を徹底し、貸与の必要性の高い被服の傾向を把握するとともに、適正な貸与を行う。			14 課題として認識されたこと ニーズに応じた貸与を行うために事務服をはじめ貸与内容の見直しを行う必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価(今後の方向性)のとおり	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			